令和６年１０月２３日（水）第２１号

福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

文化財 NEWS

こちらの QR コードから、閲覧･ダウンロードができます→

文化財パトロール ～ 南会津町 ～ ③

９月５日（木）南会津町田島地域において、金光山安楽院薬師寺にある仏像２体と熊野神社にある御正躰（みしょうたい）１１面の文化財パトロールを行いました。

熊野神社御正躰（くまのじんじゃみしょうたい）

「御正躰」とは、神仏習合の信仰により、鏡の板に神仏の像を刻んだり、貼り付けたりしたものです。「懸仏（かけぼとけ）」とも呼ばれ、社寺に奉納し、礼拝されていました。熊野神社には、１１面の御正躰が保存されています。鎌倉時代から室町時代に奉納されたものですが、細かな装飾が残っており、当時これだけの技術があったのかと驚きです。興味深いことに、円形だけではなく扇形の御正躰もありました。

当地には平安・鎌倉の時代から熊野信仰があり、慶長８年（１６０３年）に三社が合祀され、現地の熊野神社となりました。歴史ある熊野神社には、貴重な文化財がまだたくさんあります。左の写真はその１つ、熊野神社の成り立ちが記録されている絵巻物です。

木造阿弥陀如来坐像・木造薬師如来立像（もくぞうあみだにょらいざぞう・もくぞうやくしにょらいりゅうぞう）

「木造阿弥陀如来坐像」（右写真）は嘉元３年（１３０５年）に奉納されたとされる木像です。虫食いが見られたということで、つい最近、栃木の博物館において燻蒸（くんじょう）を行ったとのことでした。燻蒸とは、密閉空間において文化財を薬剤でいぶし、虫やカビを退治することです。また、カビが生えないように湿気にも気を配っているとのこと。貴重な文化財を大切に保存されているということが分かりました。

「木造薬師如来立像」（左写真）は建治４年（１２７８年）に奉納されたとされる木像です。下野（現在の栃木県）の薬師寺から住職が背負って運んできたそうです。そのため台座が無く、飛んできたとも言われているとのことでした。総高１７５．５ｃｍもある大変立派な仏像でした。

薬師寺には、他にも南会津町指定文化財になっている見事な像がたくさんありました。